

# 住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第47号 11月10日  
発行 住友化学(株)アグロ事業部  
お客様相談室 0570-058-669  
発行責任者 古津 昇

## 目次

農家さん訪問記 (32) . . . . .	p.1
食の安全性について考える (8) . . . . .	p.5
住友化学アグログループ紹介 (株)日本グリーンアンドガーデン . . . . .	p.6
野菜の病害虫防除・お役立ち情報 . . . . .	p.7
新農薬紹介 ゴッツA . . . . .	p.8
今月のお奨め農薬 . . . . .	p.9
農薬あれこれ?なぜなに?コーナー . . . . .	p.10
農薬登録情報 . . . . .	p.11
今月のご相談から . . . . .	p.13
病害虫発生情報 . . . . .	p.14
最近の「お・美味しい!」 . . . . .	p.15
コラム・そば談義 . . . . .	p.16
編集後記 . . . . .	p.16



フヨウ(アオイ科)とルリビタキ  
(ツグミ科) 富樫氏 画

## 農家さん訪問記(32)

### 筑波山の麓で理想とする農業経営に取り組む中村さん!

今回の農家さん訪問では、茨城県八千代町を訪ね、関東平野のど真ん中ではくさい栽培の大規模栽培で意欲的な農業経営を進めている中村和行さん(38才)にお話を伺いました。(訪問日2008年10月21日)

### 父との約束でトップクラスの営業マンから農業に転身!



中村さん

今回訪問した茨城県八千代町周辺は東に名峰筑波山を望み、西に「坂東太郎」の異名を持つ利根川が流れ、関東平野の中でも特に見晴らしの良い所です。土壌は大変肥沃で、作土層が深く、柔軟で、碎土・耕起も簡単です。

関西地方では、土壌中の粘土含量が多いため、雨が降るとしばらく畦立てが出来ない場所が多いのですが、ここは水はけも良く、このような心配も少ない所です。これに加え、土地は平坦で、近くに東京という大消費地がひかえるという好条件がそろっているため、以前から規模の大きな農業経営が行われてい

ます。

中村さんは学校を卒業後、東京で就職していました。会社ではいつも売上がトップクラスの営業マンでしたが、30歳の時、お父さんとの約束で故郷に帰り、現在に至ります。この間、お父さんと一緒に農業を行っていましたが、昨年お父さんが亡くなり、現在はお母さんと奥さん、二人の子供さんとの5人家族です。

主な栽培作物は、春期栽培、秋期栽培では「はくさい」及び「キャベツ」、夏期栽培では「なす(長なす)」、「とうもろこし」です。

これに加えて水稻を栽培し、今年からは「しょうが」も栽培しています。中村さんの帰農前には八千代町近郊は「メロン」の栽培が主力で、お父さんも春期栽培は「メロン」を主に栽培していましたが、収益性が下がってきたので、現在の作物に切り替えています。それぞれの作物の栽培面積は以下の通りですが、自己所有農地は3haで、それ以外は全て借地です。



はくさい畑

#### 中村さんの栽培面積

はくさい：春期栽培4ha、秋期栽培10ha

キャベツ：春期栽培3ha、秋期栽培1ha

なす(長なす)：夏期栽培30a

とうもろこし：夏期栽培5ha、

しょうが：30a、 水稻：50a

## はくさい・キャベツを契約栽培に切り替え安定経営！

8年前、中村さんが帰農した頃には、お父さんは概ね自己所有地の3haの面積で栽培をしていました。その後、経営を安定化させるため借地を増やしてきました。しかし、



キャベツ畑

借地での栽培には苦勞が絶えません。新たに借りた農地で栽培した場合、土壌が不適で期待通りの収穫が得られない場合があります。このような農地は栽培を止め、新たな借地を探します。また、自宅から遠いと往復に時間が取られ、作業効率が低下するので、なるべく自宅近いところに集約するようにしています。このため借地はこの8年間でもかなり変遷しています。

「はくさい」、「キャベツ」等の大規模栽培はリスクが高く、豊作の時には

市場に大量に出回り、非常に安価になり、収穫に掛かる費用も出せず、畑にすき込んでしまう時があれば、不作の時には、品薄となり、都内のスーパーで一つ千円以上するようなこともあり、この時期に収穫できた農家は大儲けとなります。



コンテナの巨大な塊

格で引き取ってもらえます。

契約栽培でのメリットがさらにあります。収穫時期になると、毎日出荷しますが、契約しているスーパーが圃場まで収穫物を引き取りに来てくれます。中村さんがスーパーまで収穫物を輸送していると、これに時間を取られ、収穫作業がはかどらず、今の面積での栽培を維持することが不可能になります。

しかし、このような経営では安定した収入と生活が確保できません。そこで、中村さんは全てを契約栽培に切り替えました。収穫した「はくさい」や「キャベツ」等は全て引き取ってもらう契約をスーパーと結んでいます。市場で品薄となり、高い価格で取引されている時は引き取り価格を抑えられる代わりに、豊作で市場に大量に出回り、非常に安価となっても、一定の価

## 中国研修生を受け入れて効率的農業経営を目指す！

勿論、中村さん一人でこれだけの面積を栽培することは不可能ですので、中国からの研修員を受け入れています。研修員は最初の1年が研修期間、次の2年が実習期間となっており、現在、6名の研修員が農作業に従事しています。中国の若い人は元気でよく働いてくれます。しかし、中国からの研修員を受け入れるには大きな問題が二つあります。

第一の問題は言葉の問題です。新人の研修員は先輩の研修員に仕事を教わり、中国語で仕事内容を理解できるため、日本語の習得があまり進みません。このため、中村さんと直接に会話することが出来ず、仕事上のノウハウを伝えることが困難になっています。次に人件費の問題です。給与は月給制ですので、毎月の人件費を確保する必要があります。「はくさい」と「キャ



野菜の育苗ハウス

ベツ」の春期栽培、秋期栽培のみでは、夏期に研修員に従事してもらう仕事なくなり、また収入もなくなります。「長なす」(30a)と「とうもろこし」(5ha)の夏期栽培は、

主に研修員の仕事と人件費を確保するためにしています。また、これだけの面積の栽培をしていくには、短時間で効率良く、色々な農作業をこなすことが必要です。当然、機械化は必須で、馬力が大きく、作業幅の広い大型のトラクターを3台所有し、これに合わせた各種の農機具が備えられています。

しかし、一時期に投入できる労力、コスト、収穫物の安定出荷等の関係から、一家で経営していくには現在の栽培規模が限度だそうです。例えば、春期栽培の「はくさい」、「キャベツ」の栽培面積は合計7haで、秋期栽培の11haより少ないのですが、春期栽培ではマルチが必要で、労力面からこれ以上拡大することは不可能だそうです。このように中村さんは規模の最大化をはかりながら、全体のバランスも取っています。また、契約先が同じメンバーの間で情報を交換し、無駄のない経営を心がけています。さらに八千代町に隣接する結城市の養豚農家と契約して、豚糞を購入し、圃場に投入するなどして、継続的な農業経営の基礎である地力の維持も忘れていません。また、病害虫に対する対処も綿密です。病害虫の発生は品質低下＝収入減に繋がり、「病害虫は発生させたら駄目」の考えで防除体系を組んでいます。

## 今後は利益率の向上を目指す！

中村さんにこれから目指している経営について聞いたところ、毎月の現金収入を確実に得るため、各時期の農作業をより一層段取りよく進め、作業員に効率良く農作業をしてもらおうことをあげられました。

例えば、「はくさい」栽培には結球後の品質低下を防ぐため、冬期に株を縛る作業が欠かせません。以前は近所のおばさん達にこの仕事をお願いしていましたが、作業期間中のおばさん達のお世話や、作業準備に時間がかかり、効率の良い運営ではありませんでした。そこで、今では中国の人に一括して業務を委託しています。こうすることで、余分なことに時間を取られず、



農薬散布するブームスプレーヤ

作業そのものの効率が上がっています。さらに、「はくさい」、「キャベツ」のみに頼らず、利益率のより高い栽培作物の種類を増やし、全体的な利益率を向上することを挙げられました。今年から「しょうが」を栽培していますが、これも利益率向上を目指した作戦です。「しょうが」以外では「レタス」、「ねぎ」の栽培も計画しており、準備も進めています。

これだけの仕事をこなしていると一年間殆ど農業漬けとなりますが、計画実現に向けてはつらつと働いておられる印象を受けました。最後に自分のなりたい姿を聞きますと、ポツリと「たまには休日が欲しいなー」とおっしゃいました。この言葉こそ中村さんの今の姿を如実に表しており、毎日、朝から晩まで頑張っている姿が想像できました。

(山脇、古津)

今回の取材は、(株)よしたに商店の吉溪社長さんにご協力を頂きました。

[目次へ戻る](#)

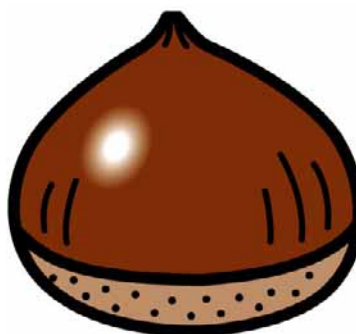
## 食の安全性について考える(8)

## IT技術による「わかりやすい表示」の工夫を！

加工食品の購入時、ラベルを読んで購入する人が以前と比べて格段に増えたそうです。

理由として、食の安全を脅かすニュースが頻繁に報道されていることと、日本は輸入食品の割合が高いことが考えられます。また、特に食品の表示を熱心に読む世代は子育て中の若いお母さんだったそうです。

さて、食品表示には\*義務表示や\*\*勸奨表示などがありますが、消費者の要望により義務表示事項が年々増え続けています。消費者に「この表示は必要ですか？」と問えば、多くの方は「あったほうがよい」とか「必要です」と答えるでしょう。しかし、増大する表示情報をどの程度読んでいるのか、また効果を発揮しているのか考えると、さまざまな問題点が浮かび上がってきます。実際、消費者は購入前に表示内容を詳しくは読んでいないようです。そこで、もう一度表示について何が重要で優先度が高いか、そしてそれは消費者のニーズに合った表示なのかとか、その伝達方法はどのようなものかいいかなど、消費者の現実の行動パターンに即した形で再検討すべきではないでしょうか。



例えば、表示すべき項目や内容を増大すれば、一定の限られたスペースの中で全て記載せねばならないため、文字の間隔が狭くなったり、活字の大きさが小さくなり過ぎたりして、非常に読みづらくなります。つまり、重要な事項を一カ所にまとめ、分かりやすく表示するという「一括表示の理念」が、多くを詰め込み過ぎることで情報性を薄れさせてしまっているケースが非常に多いと考えられます。高齢化時代を迎えて、大きな文字で分かりやすく表示する必要性がますます高まっています。ラベルに一括表示する本来の主旨について今後工夫が求められるのではないのでしょうか。これは、農薬ラベルも同様です。特に家庭園芸用の小さい容量の製品ラベルなどは、虫眼鏡などで読まない文字が小さくて読めないと苦情が寄せられます。

将来、個々の食品の一括表示については、最小限の義務表示にとどめ、高齢者でも読みやすい大きな文字で表示することが大切と考えます。ただし、それを補完するために、「さらに詳しい情報を必要とする人に対しては、それを即座にキチンと提供できるシステム」を、IT技術などを用いて実施すべきです。たとえば、小売店のモニター画面、携帯やパソコンの端末からコード番号を入力すれば詳細な情報をいつでも提供できる仕組みを用意するのです。JANコードを携帯電話から送れば必要な情報がいつでもメールで送信されるような仕組みです。それ以外のシステムも可能と思いますが、IT時代にふさわしい表示について早急に具体化していくべきだと思います。(古津)

\*義務表示：遺伝子組換えとアレルギー物質

\*\*勸奨表示：可能な限り表示する

参考文献 嘉田良平著 「食品の安全性を考える」 (財)放送大学教育振興会

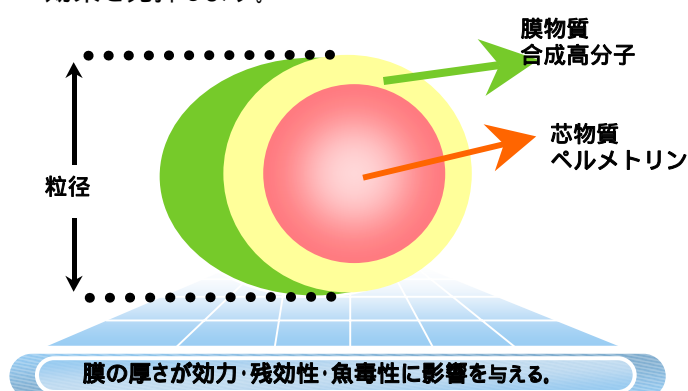
[目次へ戻る](#)

## 住化アグログループ紹介 (株) 日本グリーンアンドガーデン

## エンバーMCのご紹介 「ゴルフ場で利用できる芝専用殺虫剤」

エンバーMCは、ピレスロイド系化合物ペルメトリンを有効成分とする殺虫剤で、住友化学が独自の処方により開発した、全く新しい液剤タイプのマイクロカプセル剤です。

マイクロカプセル化により、残効性・耐雨性の向上、魚毒性・薬害の軽減を可能にしました。また、有効成分にピレスロイドを用いたことにより、速効性と忌避作用という特長を有し、高い効果を発揮します。



有効成分：	ペルメトリン：10.0%
種類名	ペルメトリンマイクロカプセル剤
外 観：	類白色粘稠液体
人畜毒性：	普通物
魚 毒：	B類相当（甲殻類に影響）
蚕 毒：	長期間毒性があるので十分注意
臭 気：	なし
系統名：	ピレスロイド系
作用機構：	神経伝達阻害

## [特長]

チョウ目（シバツガ・スジキリトウ・タマナガなど）の老齢幼虫まで優れた即効的な効果を持つとともに、マイクロカプセル化によって効力の持続期間が長くなり、使用場面で使用時期の影響の少ない安定した効果が得られる。

人畜毒性・魚毒性が軽減された。（人畜毒性ではラットで経口毒性 LD50 >5000mg/kg、魚毒ではコイの TLm(48時間)が 560ppm であり、安全性が非常に高くなっている。）

活性成分が膜物質に保護されることで製剤として安定化するとともに耐雨性などが著しく改善されている。また、使用時の懸濁性にも優れる。

ドリフト、臭気、刺激性の軽減により使用者がより安全に使用できる。

登録内容						
作物名	適用害虫名	希釈倍率(倍)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法 (1m <sup>2</sup> 当り)	ペルメトリン含む 農薬総使用回数
シバ	スジキリトウ	1000~2000	発生初期	3回以内	0.2~0.3L	3回以内
	シバツガ				0.3L	
	シバオサゾウムシ(成虫)	2000				
	タマナガ幼虫				1000	
	コガネムシ類幼虫				1.0L	

[目次へ戻る](#)

**野菜の病害虫防除・お役立ち情報****レタス病害虫の適正防除で秀品率を高めよう！**

各地域の生産地では、立地（気象）条件を巧みに利用して、レタスの生育適温 15～20 にあった冬～春どり栽培、夏～秋どり栽培、秋～冬どり栽培が行われており、更なる高位安定生産が求められています。

そこで、レタスの播種前から定植期までの病害虫の総合的防除技術について述べ参考に供したいと思います。

**良質苗の育成**

再利用トレイの洗浄：土壌伝染性病害菌類を水洗除去する

床土の消毒：自家培土は必ず消毒し、無病土を使用する

コ・ティング種子の利用

育苗は高床式で行い、施設の通路は被覆材を設けて土壌病害菌類の飛来を防止する

アブラムシ類やナモグリバエはダントツ水溶剤で防除する

育苗施設周辺の雑草等は、病害虫の伝染源になるので防除を徹底する

**定植圃場の準備**

本畑は完熟堆肥や石灰を施用し、深耕による土作りする（基本）

降雨が停滞しやすい圃場や地下水位の高い圃場では、排水を良好にする

圃場周辺の雑草はモザイク病や萎黄病の伝染源になる可能性があるので除去する

**病害発生被害軽減技術（耕種的防除）への積極的な取り組み**

被害株や残渣は伝染源となるので圃場外に搬出し、焼却するか土中深く埋める

発生（病）圃場では連作を避け、軟腐病ではイネ科やマメ科作物を3～4年、菌核病ではイネ科作物を3～4年程度、根腐病ではネギやキャベツなどキク科以外の作物を、それぞれ輪作する

圃場の多湿条件は、べと病、軟腐病、斑点細菌病、すそ枯病、腐敗病の発病を、それぞれ助長するので排水を良好にする。また、すそ枯病や軟腐病では、高畝栽培を行い被害を軽減する

完熟堆肥を十分に施し、べと病、斑点細菌病、腐敗病対策では、生育中期以降に肥切れしないよう肥培管理に留意する

軟腐病の発生防止策として、播種や定植は高温時期を避け、なるべく遅くする

トラクター等作業機の付着土壌は洗浄除去し、土壌病害類の伝播を未然に防止する

（技術顧問：村上）

[目次へ戻る](#)

## 新農薬紹介

## 微生物の力でコナジラミ退治 - 微生物殺虫剤

# ゴッツァ®

今月は、今年10月に発売されたニューフェイス「ゴッツァ」をご紹介します。

ゴッツァは、日本国内の土壌より分離された昆虫病原性糸状菌ベキロマイセス テヌイペス (*Paecilomyces tenuipes*) の分生子を有効成分とする新規微生物殺虫剤で、施設栽培における難防除害虫コナジラミ類に対して高い殺虫効果を示します。出光興産(株)と共同開発を行い、2008年6月に農薬登録を取得するに至りました。

本剤は水に溶かしやすい製剤(オイルフロアブル剤)です。500倍から1000倍に水で希釈した後、コナジラミが生息する葉裏を中心に散布してください。ベキロマイセス・テヌイペスの分生子がコナジラミ体表に付着、発芽した後、表皮から侵入して体内で増殖することによって、コナジラミを死亡させます。

### ゴッツァの特長

施設栽培の野菜類に適用があり、施設内で発生する難防除害虫オンシツコナジラミやタバココナジラミ(Bタイプ、Qタイプ)に有効。

液剤タイプ(オイルフロアブル剤)で溶けやすく希釈が容易。

農薬散布回数にカウントされない生物農薬

施設で利用する天敵類(ツヤコバチ類、テントウムシ類、ハナカメムシ類など)と併用可能。

ゴッツァは、総合的病害虫雑草管理(IPM、Integrated Pest Management)に適合した薬剤です。

弊社の他の生物農薬、BT剤や天敵のオリスターA(タイリクヒメハナカメムシ)、ミドリヒメ(ハモグリミドリヒメコバチ)ともどもよろしくお願いいたします。(本藤)



【写真】ベキロマイセス  
テヌイペス菌の顕微鏡写真



【写真】タバココナジラミ(幼虫と蛹)  
のベキロマイセス菌感染死亡状況

[目次へ戻る](#)



**今月のお奨め農薬****野菜栽培にも「苗半作」の格言は活きている(2)**

前回は、野菜栽培でも、播種から育苗、定植から初期生育の段階で害虫による食害や病気を防ぐことが、その後の順調な生育には是非必要であり、播種・育苗期から定植・生育初期に発生する病害虫防除に利用できる農薬の概要をご紹介しました。

今回は、前回紹介したベンレート水和剤の種子粉衣について詳しく解説します。

野菜類の発芽から生育初期に問題となる病害は、種子に感染したり、土壤中に棲息して種子発芽後や苗定植後に根や茎から侵入する菌が引き起こします。これらの菌のなかで、防除上重要な菌としてはフザリウム菌、リゾクトニア菌及びピシウム菌等があげられます。特にフザリウム菌による被害は野菜産地全体の崩壊につながるほど、深刻な被害をもたらす場合があります。

フザリウム菌による野菜の病気の主なものには次のものがあげられます。

- 1) トマト萎凋病 2) ナス半枯病 3) スイカつる割れ病 4) メロンつる割れ病  
5) キュウリつる割れ病 6) キャベツ萎黄病 7) イチゴ萎黄病

この他にも多くの作物が罹病し、中でも、イネばか苗病は非常に重要な病気です。

フザリウム菌は土壤中で活動の休止した状態(厚膜胞子)で存在します。そこに植物の根が伸びてくると、根からの分泌物に反応し、活動を開始します。活動を開始した菌は菌糸を伸ばし、実生や苗の根や地際の茎(胚軸)の表面から植物の中に侵入し、植物体全体に拡がり、種々の病害を引き起こします。最後には種子にも到達し、種子が汚染されます。この汚染種子が使用されると、その畑のフザリウム菌の汚染が拡大されます。これがくり返されると、フザリウム菌が増加し、もはや野菜が栽培できない状態になってしまいます。

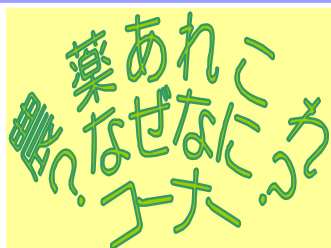
このような、土壤中のフザリウム菌の増加を防ぐには以下の管理が効果的とされています。1) イネ科作物との輪作 2) 石灰の施用 3) 土壤の湛水状態 4) 十分分解した有機物の施用 5) 薬剤による土壤消毒 6) 抵抗性台木の使用 7) 種子消毒この他に、土壤線虫が増加すると、台木の抵抗性が破られたり、複合病が発生するので土壤線虫の防除も重要とされています。

これらの防除方法の中で種子消毒は大変重要な防除手段です。折角苦労して土壤を改善し、土壤中のフザリウム菌の量を減らしても、汚染された種子を使用しては、防除効果をあげることは出来ません。種子に含まれている菌は僅かですが、これが一次感染源となると共に、二次感染を引き起こします。また、汚染種子が遠方に運ばれた場合、それまでフザリウム菌による病気が発生しなかった畑での発生源となります。種子採取の時に無病種子を採取することや、無病種子への汚染種子の混入を防ぐことも重要ですが、僅かでも汚染している可能性があれば、ベンレート水和剤で粉衣処理された種子を使用し、健全な苗を育成してください。

(山脇)

[目次へ戻る](#)





## 「農薬」でいう 「薬害」の意味は？

### ご質問

こんにちは。最近趣味で園芸を始めた者です。ホームセンターで園芸用にもミチオン乳剤を購入しました。ある時、ふとラベルを見ると「薬害」という文字が見えます。「あぶらな科作物には、薬害を生ずるおそれがあるので・・・」というくだりですが、あぶらな科作物と言われても、パッと作物が浮かびません。どんな作物があるのでしょうか？

また、薬害という言葉がよくわかりません。例えば、あぶらな科の作物に使ってしまってそれを食べると何か人体に影響があるということですか？また、テレビなどで耳にする「薬害訴訟」などと何か関係があるのでしょうか？

### 質問ポイント

**あぶらな科の作物にはどんなものがあるの？  
農薬でいう「薬害」とは医薬品同様、「人体に及ぼす影響」のことを言うの？**

### お答え

あぶらな科作物には、主なものに、キャベツ、はくさい、だいこん、かぶ、なばな、こまつな、ブロッコリーなどがあります。また、これら類縁作物も、同じアブラナ科になります。たとえば、はつかだいこんやカリフラワーなども、あぶらな科です。また、この他にも、葉を食べる野菜の中には、あぶらな科に属するものが多くあります。分からないときは、図鑑やインターネットで調べてみてください。

さて、「薬害」とは穏やかでない響きですが、**農薬で言う「薬害」は、農薬を使用した際に、「作物に発生する害」のことです。**決して、人体に悪影響を及ぼす物質が発生するという意味ではありませんので、ご安心下さい。

農薬の除草剤は、そもそも草を枯らすものですので、適用以外の作物へかかると薬害を起こしやすいのですが、殺虫剤や殺菌剤も、作物の種類によって薬害を生じることがあります。症状は、農薬の種類や作物の種類、かかった量などによって実に様々ですが、ひどい場合には作物が枯れてしまうこともあります。スミチオンの場合、あぶらな科野菜にかかると、葉のかかった部分が傷んだようになり、場合によっては、葉の色が白く抜けます。そのため、スミチオン乳剤は、これらの作物に登録はありません。

農薬を間違えて使用してしまい、作物に薬害が発生したからといって、食べられないものになるわけではありません。しかし、食べる部分に強い薬害が出た場合は、そこから作物の傷みが進むので、食用には向かなくなると考えられます。なお、「適用の無い農薬を使用した場合の作物の安全性」については、また別の話で、前回の本コーナーで説明した通りです。

(佐伯・南)

### 回答ポイント

**キャベツ、はくさい、だいこん、かぶ、なばな、こまつな、ブロッコリーなどの野菜です。  
農薬で言う「薬害」は、作物に生じる害のことです。**

[目次へ戻る](#)

**農薬登録情報**

&lt; 10月22日・11月5日付けの適用拡大内容です &gt;

**適用拡大**

・各種剤の適用拡大がありました(一部負の適用拡大もあります)

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名/ 使用目的	使用量ほか	
殺虫剤	マラソン乳剤	作物追加	<b>よもぎ</b>	アブラムシ類	2000倍	収穫7日前まで 1回以内 散布
殺菌剤	ベンレート水和剤	使用時期変更	りんご	収穫7日前 <b>収穫前日まで</b> に変更		
		本剤の使用回数・ ベノミルを含む農薬の総使用回数変更		6回以内 <b>3回以内</b> に縮小		
		作物追加	<b>あんず</b>	黒星病 すす斑症	3000倍	収穫7日前まで 1回以内 散布
			<b>はくさい</b>	白斑病	2000倍	収穫14日前まで 4回以内 散布
		使用時期変更	アスパラガス	茎枯病 株腐病	収穫3日前 <b>収穫前日まで</b>	
		使用時期追加	いちご	炭疽病 萎黄病	500倍	<b>ポット育苗期間</b> 3回以内(本圃定植後は1回以内) <b>1株当り100ml 灌注</b>
		使用時期変更		炭疽病		仮植時又は本圃定植後 <b>但し収穫30日前まで</b> 3回以内(本圃定植後は1回以内) 1㎡当り3L灌注
殺虫殺菌剤	バイゲットプリンスリンパーL箱粒剤	使用時期変更	稲(箱育苗)	いもち病、紋枯病、イネミズゾウムシ、コブノメイガ、イネツトムシ	移植3日前～移植当日 <b>緑化期～移植当日</b> 左記以外の適用害虫(イネドロオイムシ、ウンカ類、ニカメイチュウ)については従前どおり「移植3日前～移植当日」	

植調 剤	ジベラ錠	作物追加	いちご (親株床)	ランナー発生促進	ジベレリン 50ppm	採苗時ランナー 発生直前 ~発生初期 1株当たり1回 茎葉散布 (1株当たり10mL)
		作物名変更 (目的追 加)	りんどう (セル苗) りんどう	発芽促進	ジベレリン 50~ 200ppm	は種前1回 種子浸漬
				生育促進	ジベレリン 100ppm	定植直前または 定植1~5週間後 1回 茎葉散布
		作物名変 更	上記変更に関連して 花き類 花き類 (りんどうを除く)			

以下は負の拡大となったものです。ご確認ください

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名/ 使用目的	使用量ほか	
殺虫 剤	アグロス ダイアジノン水和 剤34	作物削除	水稻			
	アグロス ダイアジノン乳剤 40	作物削除	稲			
		使用時期 変更	あさつき	アブラムシ類 ネギコガ	1000倍	収穫21日前まで 収穫30日前まで 2回以内 散布  ねぎ、わけぎについ ては従前どおり「収穫 21日前まで」
				アザミウマ類	700~ 1200倍	
ネギハモグリバエ	1000~ 2000倍					
タマネギバエ	700倍					

(佐伯・南)

[目次へ戻る](#)

**今月のご相談から**

## 展着剤ってどんな働きをするのですか？

**Q1．展着剤も農薬ですか？**

A1 展着剤もれっきとした農薬です。展着剤自体は殺虫、殺菌、殺草効果はありませんが、農薬（水和剤や乳剤など）を水に希釈する際に一緒に加えることにより、作物への付着を良くしたり、水和剤を水に均一に分散させる等の働きがあります。

**Q2．展着剤は農薬に加えて使うことで、どんな働きをするのですか？**

A2 展着剤はその働き方から、次の4つのグループに分類されます。

**展着剤**...農薬の付着性、湿展性（濡れ拡がり）を高めることにより、防除効果を高めます。濡れにくい作物（イネ、ネギ、サトイモなど）への付着性を良くするため、その結果薬剤の防除効果を高めます。

**機能性展着剤**...作物や病害虫などの表面を濡らす力と、作物の表面から内部へしみこみます力により、農薬の作物への浸透移行性を高め、耐雨性や残効性を増強します。浸透性のある殺菌剤や殺虫剤に有効です。

**固着性展着剤**...作物などに付着した薬剤を固着させ、薬剤の残効性を高めます。予防効果のある殺菌剤に有効です。

**その他**...起泡剤、空散用（蒸散防止、粒径調節）、消泡剤などそれぞれの目的別を使用します。

**Q3．展着剤を使う場合の注意点は？**

A3 たくさんある展着剤は、上記のように4つのグループに分類されます。対象作物ごとに最適な展着剤を選ぶことで、効率的な防除が可能になります。

薬液を調製する時は、展着剤を最初に水に加えて攪拌して下さい。後から入れた水和剤やフロアブル剤の溶けや拡散が良くなります。

乳剤には一般的に界面活性剤が入っていますので、展着剤の加用が不要な場合があります。（薬害や効力低下が起こる場合もあります）

フロアブル剤は作物に対する付着性がよく、分散、湿展性も良いので、基本的には展着剤は必要ありません。それぞれの薬剤の説明書を見てご判断下さい。

水和剤は、一般的に水に溶け難く沈殿し易いので、展着剤を使う必要があります。また、濡れの悪い作物（ネギなど）に散布する場合は、多めに使用すると効果的です。

（小川）

[目次へ戻る](#)

**病害虫発生情報**

10月22日～11月5日

**北海道**\* 10月22日 **特殊報** / 広範な作物 / ヘリキスジノメイガ

当社登録薬剤：該当なし

詳細は：<http://www.agri.pref.hokkaido.jp/boujoshou/>**埼玉県**\* 10月30日 **特殊報** / きゅうり / キュウリ退緑黄化病

(仮称) 《コナジラミ類が媒介》

当社登録薬剤：コナジラミ類 ベストガード水溶剤、粒剤、  
ダントツ水溶剤、粒剤詳細は：<http://www.pref.saitama.lg.jp/A06/BC01/bozyo/>

タバココナジラミ

**島根県**\* 10月31日 **特殊報** / きく 品種：新神2 / キク茎えそ病当社登録薬剤：ミカンキイロアザミウマ：ベストガード水溶剤、粒剤、ボルテージ乳剤  
《ミカンキイロアザミウマにより伝搬》詳細は：<http://www.jppn.ne.jp/shimane/>**香川県**\* 11月5日 **特殊報** / 水稲、ダイズ等 / ミナミアオカメムシ

当社登録薬剤：水稲：スミチオン乳剤、粉剤2DL、3DL、スミバツサ乳剤75、粉剤20DL、50DL、ダントツ水溶剤、粒剤、粉剤DL、H粉剤DL、フロアブル、パダントレボン粉剤DL、ベストガード水溶剤、粉剤DL、MR.ジョーカーEW

だいず：アグロスリン乳剤、スミチオン乳剤、粉剤3DL、ダントツ水溶剤、粉剤DL、H粉剤DL、パーマチオン水和剤、ランネートDF45、MR.ジョーカーEW

詳細は：<http://www.jppn.ne.jp/kagawa/>**大分県**\* 10月31日 **注意報** / いちご / うどんこ病

当社登録薬剤：サブロー乳剤、ポリオキシソールAL水溶剤「科研」

詳細は：<http://www.jppn.ne.jp/oita/>

うどんこ病

**鹿児島県**\* 10月31日 **注意報** / いちご / うどんこ病

当社登録薬剤：サブロー乳剤、ポリオキシソールAL水溶剤「科研」

詳細は：<http://www.jppn.ne.jp/kagoshima/yosatu/yosatutop/YOSATU.HTM>

(手塚・柳原)

[目次へ戻る](#)

# 最近の「お・・美味しい！」

## 収穫の秋につき、2本立て！

弊社相談室から佐伯がお送りします  
最近の「お・・美味しい！」  
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、  
毎月「これぞ！」というものを紹介します。  
どうぞお楽しみに♪♪

今回は悩みました。なんとって収穫の秋・実りの秋ですよ！！美味しいものがありすぎて、どれにしようかホント困りました。ということで今回は2本立てです。

### 「日本人でよかった」Part お米編

まずは、「新米」です。すでにあちこちの新米が出回っていますが、今回は同僚からとても美味しい「ササニシキ」を幸運にも頂きましたので、そのお話を・・・

「ご飯をおかずにご飯を食べる」。炭水化物好きな友人が常々言っている言葉です。「それは言い過ぎでしょう(笑)」と思っていたのですが、今回のお米はその言葉を裏付けることになりました。もともとご飯好きの私ですが、普段めったに「お替わり」をしません。でもこのご飯は「お替わり」が止まりません(超危険)。しかも、おかず要らずで、「そのまま」で食べないともったいないと思わせるほど美味しいのです。このササニシキ、炊いている時の香りも抜群で、炊き上がりにお



つやつやの、炊きたてごはん！

釜を開けた時にまず幸福感に包まれます。そして一口ずつよく味わっていただきます。甘味があって、最後まで美味しさが色褪せません。「日本人で良かった・・・！」と思う瞬間です。お米を下さった同僚と、お米を丹精こめて作られた農家さんに改めて感謝です！

### 「日本人で良かった」Part ジャがいも編

続きまして、「ジャがいも」です。これも、実は社内 で頂いたものなのです(頂きモノばかりの佐伯家です(笑))。たくさん頂きましたので、たくさん食べられるものを・・・と考えて、



にんにく醤油が味の決め手！  
ジャがいもがホックホクです！

定番「肉じゃが」を作りました。味付けは普通ですが、今回は醤油の代わりに、にんにくを漬け込んだ「にんにく醤油」を使ってみました。ほのかににんにくの風味がして、これが美味しいのです。煮物は我が家では前日作るのが鉄則です。今回も前日に作っておき、いい塩梅になったところをいただきました。ジャがいもは、味が染み込んでホクホクでした。秋になると、こういった「煮込み系」が食べたくなりますね。これがまたご飯に合う合う！炭水化物と炭水化物で、体重が

エライことになりそうで怖いですが、こればかりは止められません(笑)。

さあ、皆さん！実りの秋ですよ。皆さんも実りの秋を満喫してください！（佐伯）



### 【今回のいただきモノ】

宮城県登米郡の「はちみつ米」を頂きました。  
弊社札幌営業所の皆様、ありがとうございました。



[目次へ戻る](#)

**コラム・そば談義 47**

NHKテレビ(BS2)で“街道てくてく旅「四国八十八か所をいく」”があった。

カラフルなユニフォーム姿で話題の卓球選手・四元奈生美さんがお遍路さんになって八十八か所を徒歩で回るといふ番組だ。徳島県の一番札所「霊山寺」から香川県の八十八番札所「大窪寺」までの道のりを地元の人々の暖かい接待を受けながら歩いていくのである。その土地の風景なども併句に読み各札所のお寺の境内で毎日それを披露するという内容であった。番組開始当初は寺に到着しても出迎える人もまばらで、それが回を重ねるごとに知名度が上がり、後半の愛媛・香川県に入ると沿道に待ち受ける人が多くなり盛んに四元さんに声援を送るようになっていた。そして、不思議なことに最初は可愛いだけの女の子だったが、日増しに逞しく精神面も成長していく様子が伝わってきて、八十八か所巡りは本当に修行の旅だと改めて認識したのである。結願の大窪寺までの道のりは、なんと1200キロもありそれを無事踏破して番組は終了した。毎日、私は会社から帰宅して、ビール飲みながら録画をみるのが楽しみであった。

私も生まれが四国のためか、白装束に金剛杖持ち鈴を鳴らして歩くお遍路さんは、普段から見慣れた光景であった。そして、このような番組があるとより懐かしい気持ちになるのである。そして、遠い記憶には、春になると村の年長者に連れられて七か所参りと称して海岸寺から善通寺までおよそ10キロの山道(途中お寺が五か所)をお参りしながら、てくてくと歩いたことが蘇ってくる。当時は娯楽も少なく、時代ものんびりとしていたこともあり、村の恒例行事だったように思う。そして、最終目的地である善通寺の五重塔が見えてくると、子供心に長い距離を歩いたという達成感が込み上げてきたことを思い出す。因みに善通寺は弘法大師生誕の地で、地元の人々は弘法大師(空海)のことを「お大師さん」と親しみを込めて呼んでいる。

ところで、私も四国八十八か所を四元さんのように徒歩で参拝したいと考えている。きっかけは共同通信社を定年した記者が、一念発起して八十八か所を徒歩でまわった体験談を読んでからである。少し紹介すると、長距離を歩くにはパンツの下着は股擦れを起こすのでよくないが、猿股は風通しがよく快適であったとか、旅館に宿泊出来ないときはモーターが意外と泊まり心地がよかったなどと参考になることが多かった。

江戸ソバリ工仲間と「新そば」を啜りながら、そんな話題で大いに盛り上がった。私も、お大師さんと同行二人、四国遍路路をてくてくと歩いてみたいという思いが最近とみに強くなるのである・・・(古津)

**編集後記**

新そばの季節である。

新そばの一番いいところは、香りがよく粉がしっとりとして、少し緑色を帯びているところである。また、その粉はよく繋がるので下手な私でも失敗が少ないところが更によい。

ところで、江戸そばは庶民の食べ物として長い歴史と、商売にしてきたこともありすべてにおいて決まりがある。例えば、延ばした麺の厚さが1.3mmで、それを包丁で1.3mmの間隔で切っていく。厚さ1.3mmは、500gの粉だと60cm×80cmの長方形に延ばすとちょうどその厚さになる。それをコンスタントに打てるようになりたいのだがまだまだ未熟である。(そば吉)



イラスト：加藤

[目次へ戻る](#)